



東広島で活躍中の地域活動団体を

のぞいてみよう！

広島ベトナム平和友好協会（HVPF）



顔を見える関係をつくる～多文化共生と人を巻き込む力～

広島ベトナム平和友好協会（HVPF）は、ベトナムとの交流や支援活動を通して、多文化共生の地域づくりに取り組む団体です。2009年の設立以来、「テトを祝う会」や留学生支援、チャリティーコンサートなどを継続。多くの人を巻き込みながら活動が続けてきた、その歩みと想いを伺いました。



「テトを祝う会」オープニングセレモニー



ベトナムがくしみん講座「ベトナム教室」

ふるさとの正月を東広島で

HVPFを代表する活動の一つが「テトを祝う会」です。テトとはベトナムの旧正月で、日本のお正月と同じように家族で過ごす一年で最も大切な行事。しかし、技能実習生や留学生の多くは、この時期に帰国することができません。

そこで協会では、日本で暮らすベトナムの人たちが少しでも故郷を感じられるようにと、毎年テトを祝う会を開催しています。

「日本で暮らすベトナムの人たちに寄り添い、『一緒にお正月を祝おう』と日本人が声をかけることに意味がある。」

テトを祝う会は「迎える側」の日本人が主体となって関係を築いてきた活動です。そこには、「外国人支援」ではなく、「地域で一緒に暮らす仲間として迎える」という姿勢がありました。

活動が続けられた理由 巻き込む力の秘訣は「まず頼んでみる」

HVPFは2028年に20周年を迎えます。長く活動が続けられた理由を尋ねると、返ってきた答えは意外なものでした。

「身の丈を考えずに、最初からたくさんの人を巻き込んだこと。」

設立当初から大学や企業、商工会議所、行政などに声をかけ、法人会員として参加してもらいました。そのことが活動への理解を広げるだけでなく、社会的な信頼や認知度の向上にもつながったといいます。

「自分たちだけでやることもできます。でも長く続けるなら、地域の団体や企業とのつながりを持っておくことが大事。」

活動が多くの人に知られることで責任も生まれる、簡単にはやめられなくなる、それが結果的に「活動が続ける力」になったと振り返ります。

地域活動では、「協力してくれる人がいない」と悩むことは少なくありません。ですが、HVPFの歩みは、人とのつながりは待つものではなく、自ら作るものだと教えてくれます。

「顔の見える関係が、
多文化共生の第一歩。」



次の世代へ

現在HVPFは、2028年に迎える「設立20周年」に向けて次のステージを見据えています。関わる多くの人が主体的に考え、動ける組織を目指していきたいと考えています。

テトを祝う会も、チャリティーコンサートも、形は変わるかもしれませんが、「平和を願うこと」「人に寄り添うこと」「地域の中でつながりをつくること」という原点は残したい。

活動の内容ではなく、活動の根っこにある思いを共有しながら、「何を残したいのか」を言葉にしながら、組織を次世代につなぐ方法を模索しています。



外国籍住民が増える今、地域の祭り、防災、子どもの見守り、自治会活動。どの活動にも外国籍住民との関わりがあります。HVPFが重ねてきた実践は、「一緒に暮らす地域をどうつくるか」を考えるためのヒントがありそうです。

団体プロフィール

- 団体名 一般社団法人 広島ベトナム平和友好協会
- 設立 2009年6月
- 活動人数 (会員数) 個人会員65名、法人会員28社
- 活動拠点 東広島市
- 主な活動 「テトを祝う会」、チャリティーコンサート、ベトナムがくしみん講座「ベトナム教室」、教育支援プログラム、ベトナム平和友好訪問など

枯葉剤被害者支援 ベトナム民族
アンサンブル・チャリティーコンサート
“Love&Peace”コンサート2026 in ヒロシマ

【日時】10月9日（金）
開演 18：00（開場 17:00）

【場所】
広島市南区民文化センターホール

チケット（協力券）
申込フォーム

